

別海町立西春別小学校 学校だより



からまつ No.17

平成31年1月31日発行 発行責任者 校長 金森 卓哉

「美しい姿」

校長 金森 卓哉

お正月には、ここ西春別から見える雄阿寒、斜里、武佐の山々は、頂上からの雪の白さがくっきりと青空に映え、2019年が穏やかにスタートしている感じをうけました。

3学期となり、スケート学習が始まりました。昨年末から造成に入り、年が明けて撒水を続けていただいたスケートリンクですが、毎日のように使ってきました。私たち道東に住む者にとって、スケート学習は保護者や先生方に造ってもらったリンクで練習し、上手になってきた気がします。子どもたちは、先生の指導を受け、さらに上手な友達のスケーティングを見て少しずつ滑ることができるようになり、スピードをだせるようになっていきます。1月30日(水)は本校のスケート記録会がありました。前日が風雪による臨時休業で実施が危ぶまれました。保護者の方の中から重機を出して除雪して下さった方がおられ、翌日は雲ひとつない晴天の中、多くの皆様からの声援を受けて記録会をすることができました。有難うございました。本年もスケートリンクの造成と維持管理へのご協力、誠にありがとうございました。

子どもたちは、スケート学習に行く時、外靴を持ち、家庭科室横の出入り口を使ってリンクへと移動します。学校ではそこにシートを敷き、廊下を汚さないようにしています。子どもたちもスケートに出る時は、後ろから来る人や入ってくる人の邪魔にならないように上靴を廊下の両サイドに並べています。しっかり並べているので、見た目もすっきりしています。たくさんの靴が出入り口の辺りに無造作に脱がれていたとしたら、きっと、それが踏みつけられたり、靴の片方がどこかに行ってしまうなんてはならなかったり、靴を履くときに子どもどうしの衝突がおこったりするのではないのでしょうか。靴をきちんと並べておくということは、集団がスムーズに動けるということにつながり、優れているのかもしれない。

2学期の終わり頃でした。職員室に学級の健康観察カードを届けに来た女の子がいました。ノックをして、戸を開け、「失礼します。健康観察を持ってきました。」と言って入ってきました。健康観察を職員室の養護の先生のところに持っていき、渡した後また職員室の戸に立ち、「失礼しました。」と言って、手を膝にあて腰の高さぐらいまでゆっくりと頭をおろしてお辞儀するのです。随分きちんとした職員室への出入りだな。「礼の仕方」に驚いてしまったのです。久しぶりにこれだけきちんとした「礼」をみせてもらったという感じがしたものです。「さて、この子は、どこでこのようなしっかりした礼を教わったのかな？」と考えながら、改めて自分の「礼の仕方」は大丈夫だろうかと振り返るのです。

これは3学期の最近のことです。朝、各教室いき挨拶を交わします。その後、体育館で遊ぶ子どもたちとも朝の挨拶をして、最後に児童玄関で登校してきた子どもたちと「おはようございます。」と言いながら、「元気かな？」とその様子を見たりします。この時、目に留まったのが、子どもたちの靴箱でした。子どもたちの冬用の靴が、きちんと靴箱に入っていました。お客様用のスリッパがきちんとしているのと同じく子どもたちの靴箱もきちんとしていました。

上靴の並べ方、職員室への出入りの仕方、靴箱の使い方と3つの姿(様子)ですが、どの姿も「きれいな姿(様子)」「美しい姿(様子)」だと思ふのでした。学校でこのような姿が見られることは、大切ではないでしょうか。どうも、人間というのは、どんな環境にでも慣れてしまうところがあり、乱れた環境にいてもそれが当たり前となってしまうこともあります。そのような点で、私たちは子どもたちに気づいてもらわなくてはならない姿(様子)を、伝えていくべきだと思ふのです。

冬期休業に入った12月21日は、「日の入り」が15時50分頃。1月の末ともなりますと、それが16時30分ちかくと40分も遅くなっております。この「日の入り」の後すぐに暗くなるわけではなく、天気が良ければ淡い紫の夕焼けが明るく街を照らしてくれます。随分、日が長くなってきていると感じております。

